

4. 土地区画整理事業、市街地再開発事業、道路、公園、駐車場等の公共の用に供する施設の整備その他の市街地の整備改善のための事業に関する事項

[1] 市街地の整備改善の必要性

(1) 現状分析

中心市街地で計画されている主要な市街地整備事業は、前計画に掲載した中通一丁目地区市街地再開発事業の竣工によりおおむね完了しているが、秋田駅西北地区土地区画整理事業等が施行中の事業として残されており、引き続き事業を推進することで、活発な都市活動を支える中心市街地の骨格構造を形成する必要がある。

一方、主要な市街地整備事業がおおむね完了しているにも関わらず、中心市街地には区域面積に約 11%を占める約 13ha の低未利用地が残されており、これら低未利用地の有効活用の推進も市街地整備上の課題となっている。

また、平成 28 年 2 月に実施した居住者アンケート調査によると、「周辺環境の不満な点」として「まわりの道路の狭さ」、「まちの景観」、「緑・水辺など自然とのふれあい」などが上位に挙げられ、「生活の場として欲しい施設」として「冬でも安全に歩ける融雪歩道等」が上位に挙げられており、安全で快適な居住環境を形成することが市街地整備上の重要な課題であるといえる。

(2) 市街地の整備改善の必要性

(1) の現状分析より、中心市街地の活性化に向けて、以下の 3 つの視点から市街地の整備改善を総合的に推進する必要がある。

●市街地の骨格構造の形成

- ・土地区画整理事業：秋田駅西北地区土地区画整理事業
- ・市街地再開発事業：秋田駅前北第一地区市街地再開発事業
- ・都市計画道路：都市計画道路事業千秋久保田町線

●低未利用地の有効活用の推進

- ・ノーザンステーションゲート秋田プロジェクト
（「都市福利施設の整備」に分類）
- ・秋田版 C C R C 事業（「街なか居住の推進」に分類）
- ・旧秋田魁新報社跡地への商業施設の整備（「経済活力の向上」に分類）

●安全で快適な居住環境の形成

- ・消融雪施設整備事業
- ・千秋公園整備事業
- ・コミュニティサイクル導入調査事業

(3) フォローアップの考え方

計画期間の各年度に各事業の進捗状況を調査し、状況に応じて事業の促進などの改善措置を講じる。また、計画期間の最終年度（令和 3 年度）に、再度進捗状況を調査し、中心市街地活性化の効果的な推進を図るものとする。

[2] 具体的事業の内容

(1) 法に定める特別の措置に関連する事業

該当なし

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

該当なし

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>[事業名] 消融雪施設整備事業</p> <p>[内容] 歩道無散水消融雪設備の設置。 (市道千秋明徳町1号線)</p> <p>[実施時期] R3</p>	市	<p>歩道に消融雪設備を設置し、冬期間の安全で快適な歩行者空間を確保する。歩行者・自転車利用者の増加を図る中心市街地の活性化に必要な事業である。 (歩行者・自転車通行量)</p>	<p>[支援措置] 防災・安全交付金（道路事業）</p> <p>[実施時期] R3</p>	
<p>[事業名] 市道千秋明徳町1号線無電柱化事業</p> <p>[内容] 景観向上・防災の観点から、無電柱化を実施する。 L=320m</p> <p>[実施時期] R3</p>	市	<p>道路に林立する電柱を地中化することで、歩行者・自転車の安全で安心な通行空間の整備を進め、かつ自然災害に強い道路環境を整備することで、歩行者・自転車通行量の増加を図る中心市街地の活性化に必要な事業である。 (歩行者・自転車通行量)</p>	<p>[支援措置] 防災・安全交付金（道路事業）</p> <p>[実施時期] R3</p>	
<p>[事業名] 都市計画道路事業千秋久保田町線</p> <p>[内容] 秋田駅西北地区土地区画整理事業区域外の都市計画道路・千秋久保田町線の整備。 L=120m W=18m</p> <p>[実施時期] H21～R2</p>	市	<p>一方通行で十分な歩道幅員を確保できていない当該路線について、既存道路拡幅に併せて、無電柱化および歩道融雪施設を整備することで、中心市街地へのアクセス性を向上させ、歩行者・自転車の安全で安心な通行空間の確保を図る中心市街地の活性化に必要な事業である。 (歩行者・自転車通行量) (人口の社会増加数)</p>	<p>[支援措置] 防災・安全交付金（道路事業）</p> <p>[実施時期] H29～R2</p>	

<p>[事業名] 秋田駅西北地区土地区画 整理事業</p> <p>[内容] 地区面積 5.8ha 都市計画道路 4路線 公園整備 1箇所 区画道路 9路線</p> <p>[実施時期] H6～R10</p>	市	<p>鉄道跡地等大規模空閑 地が残るなど、低密度の土 地利用となっていた当該 地区において、良好かつ健 全な市街地の形成を図る とともに、鉄道で分断され た秋田駅東西地区を結ぶ 幹線道路を整備すること で、中心市街地のアクセ ス性向上による歩行者自 転車通行量の増加を図る、 中心市街地の活性化に必 要な事業である。 (歩行者・自転車通行量) (人口の社会増加数)</p>	<p>[支援措置] 社会資本整備総合交 付金（道路事業）</p> <p>[実施時期] H29～R1</p>	
<p>[事業名] 秋田ノーザンゲートスク エア整備事業</p> <p>[内容] 秋田駅東口に隣接する未 利用地を活用し、体育 館・保育施設・事務所・ 店舗の複合施設を整備す る。</p> <p>[実施時期] H30～R1</p>	民間	<p>秋田駅東口に隣接する 低未利用地を活用し、地元 プロバスケットチームや秋 田版C C R C構想と連携し たにぎわい創出の核とな る施設を整備するもので、 秋田駅周辺における新た な街の魅力・価値の創出に つながる中心市街地の活 性化に必要な事業である。 (歩行者・自転車通行量)。</p>	<p>[支援措置] 社会資本整備総合交 付金（優良建築物等整 備事業）</p> <p>[実施時期] H30～R1</p>	

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

事業名、内容 及び実施時期	実施 主体	中心市街地の活性化を 実現するための位置付け 及び必要性	支援措置の内容及び 実施時期	その 他の 事項
<p>[事業名] 千秋公園整備事業</p> <p>[内容] 千秋公園再整備基本計 画に基づき、これまで継 承してきた歴史と、まち の中で育まれてきた自然 環境を活かすとともに、 誰もが利用しやすい公園 づくりを目指し、千秋公 園の再整備を行う。</p> <p>[実施時期] H8～</p>	市	<p>既存施設の快適性、利便 性を向上させ、歴史的資質 の活用、自然環境の保全を 目的とした整備により公 園の魅力を高め、来園者 を増やすとともに、周辺 の芸術文化施設等との連 携によりにぎわい創出を 図るもので、中心市街地 の活性化に必要な事業で ある。 (歩行者・自転車通行量)</p>	<p>[支援措置] 防災・安全交付金（都 市公園・緑地等事業）</p> <p>[実施時期] H29～R3</p>	

<p>[事業名] 秋田駅西北地区土地区画 整理事業（再掲）</p> <p>[内容] 地区面積 5.8ha 都市計画道路 4路線 公園整備 1箇所 区画道路 9路線</p> <p>[実施時期] H6～R10</p>	市	<p>鉄道跡地等大規模空閑 地が残るなど、低密度の土 地利用となっていた当該 地区において、良好かつ健 全な市街地の形成を図る とともに、鉄道で分断され た秋田駅東西地区を結ぶ 幹線道路を整備すること で、中心市街地のアクセ シビリティ向上による歩行者自 転車通行量の増加を図る、中 心市街地の活性化に必要 な事業である。 (歩行者・自転車通行量) (人口の社会増加数)</p>	<p>[支援措置] 社会資本整備総合交 付金（道路事業）</p> <p>[実施時期] R2～R3</p>
--	---	---	--

(4) 国の支援がないその他の事業

事業名、内容 及び実施時期	実施 主体	中心市街地の活性化を 実現するための位置付け 及び必要性	国以外の支援措置の 内容及び実施時期	その 他の 事項
<p>[事業名] 秋田駅前北第一地区市街 地再開発事業</p> <p>[内容] 市街地再開発事業によ り、商業施設等を整備す る。</p> <p>[実施時期] H19～R3</p>	民間	<p>平成元年の市街地再開 発事業の施行認可以降、建 築未着手の状態が長期間 続いていることから、早期 完成を目指すことにより、 本市玄関口にふさわしい、 土地の合理的かつ健全な 高度利用を図る。</p> <p>新たな商業施設等の整 備により秋田駅前地区の さらなる魅力向上を図る もので、中心市街地の活 性化に必要な事業である。 (歩行者・自転車通行量) (商業集積促進関連制度利用件数)</p>		

<p>[事業名] コミュニティサイクル導入調査事業</p> <p>[内容] 中心市街地を含む市の都心部を対象区域とし、主要ポイントにおけるサイクルポートの設置などにより移動における利便性の向上や、市街地のにぎわい創出等を目的としたコミュニティサイクルについて、導入における課題対応、市民の意向等の把握、観光分野との連携の可能性等実現に向けた調査検討を行う。</p> <p>[実施時期] H30～R2</p>	<p>市</p>	<p>中心市街地の回遊性向上や公共交通の補完するコミュニティサイクルの導入は、まちなかへの回遊を促す上で有効であり、その導入のための調査事業は、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p> <p>(歩行者・自転車通行量) (芸術文化施設利用者数) (市民活動等施設利用件数)</p>		
---	----------	--	--	--